

# 小諸市の財務諸表(平成22年度)《概要版》

- 作成モデル：総務省方式改訂モデル
- 対象範囲：普通会計
- 作成基準日：平成23年3月31日(平成22年度末)
- 使用した基礎数値：昭和44年度から平成22年度までの「決算統計」データ及び歳入歳出決算書

## 普通会計財務諸表4表

### 貸借対照表

地方公共団体が行政サービスを提供するために保有している財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したものです。資産合計額と負債・純資産合計額が一致し、左右がバランスしていることから「バランスシート」とも呼ばれています。

資産	864億円	負債	162億円
【内訳】		【内訳】	
公共資産	754億円	固定負債	143億円
有形固定資産	737億円	地方債	128億円
売却可能資産	17億円	退職手当引当金	15億円
投資等	70億円	流動負債	19億円
投資及び出資金	1億円	翌年度償還予定地方債	15億円
貸付金	1億円	翌年度支払予定退職手当	3億円
基金等	65億円	賞与引当金	1億円
長期延滞債権	9億円		
回収不能見込額	▲6億円		
流動資産	40億円		
現金預金等	40億円		
うち歳計現金	7億円		
		純資産	702億円
資産合計	864億円	負債・純資産合計	864億円

### 行政コスト計算書

1年間の行政活動のうち、福祉活動やごみ収集といった資産形成に結び付かない行政サービスに係る経費と、手数料などの経常的な収益を対比したものです。

経常行政コスト(A)	142億円
【内訳】	
人にかかるコスト	27億円
物にかかるコスト	44億円
移転支出的なコスト	67億円
その他のコスト	4億円
経常収益(B)	5億円
純経常行政コスト (A) - (B)	137億円

### 資金収支計算書

1年間の市の歳計現金(資金)の収支状況を性質別に区分したものです。

期首資金残高	7億円
当期収支	0億円
【内訳】	
経常的収支	41億円
公共資産整備収支	▲8億円
投資・財務的収支	▲33億円
期末資金残高	7億円

### 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを表したものです。

期首純資産残高	701億円
純経常行政コスト	▲137億円
財源調達	138億円
期末純資産残高	702億円

(注) 金額の内訳は、端数処理の関係で一致しない場合があります。